

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	環境衛生事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文			
					01	04	01	04
							08	01

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	生活環境の向上を図る。
事業内容	環境衛生事業に係る事務管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	環境衛生事業に係る事務管理。研修や出張、使用する車両2台の管理を行っている。また、平成28年度から、公害苦情相談業務事業も当事業に統合した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・環境衛生の各事業を推進する上で、マンパワーによる啓発や指導が大きな要となっている。 ・一般的な苦情対応においては、民事的な対応が多い。緊急な現場対応では迅速な処理を行っている。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,066,295	7,736,958	2,508,483				
事業費(b)(円)		6,660,795	6,206,258	961,783				
うち一般財源		6,660,795	6,206,258	961,783				
職員給与費(c)(円)		2,405,500	1,530,700	1,546,700				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		1.00	0.50	0.50				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事務用消耗品の適切な執行に努める。	③取組における課題(Check)	事務経費の削減。
②H30に実施した取組(Do)	平成30年度から苦情相談員賃金を路上喫煙防止事業の路上喫煙賃金として計上。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	苦情対応における職員のスキルを維持するため、該当する研修をバランスよく受けるようにする。